

平成 20 年 1 月 31 日

各 位

株式会社ジャレコ・ホールディング
代表取締役社長 後藤 克誓
(JASDAQ コード・7954)
問合せ先 執行役員 CFO 大浦 隆文
TEL 03-5412-6100

簡易株式交換による EMCOM 株式会社の完全子会社化に関するお知らせ

当社と EMCOM 株式会社 (以下、「EMCOM」といいます。) は、本日、両社の取締役会において、平成 20 年 3 月 14 日を期して、当社が EMCOM を完全子会社とするための株式交換を行うことを決議し、株式交換契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式交換による完全子会社化の目的

当社は、平成 18 年 7 月 3 日付で事業持株会社化し、事業環境の変化に迅速かつ柔軟に対応する体制作りに注力してまいりました。当社グループの事業領域の核は、金融、不動産事業であり、常に新しいビジネスを創出し、最先端に位置する「金融・不動産コングロマリットに成長する」ことを経営目標としております。EMCOM は純粋持株会社であり、100% 子会社として、金融システム販売ならびにネット金融サービスのコンサルティングおよびその提供を行っている株式会社 FONOX (以下、「FONOX」といいます。)、金融商品システムの開発を行っている法人恒睿軟件開発 (大連) 有限公司 (以下、「BestWiz」といいます。)、投資銀行業務等を行っている株式会社 EMCOM FINANCIAL の 3 社を保有しております。

今回の完全子会社化の目的は、FONOX および BestWiz がもつシステム開発ノウハウ、コンサルティング能力、及び中国における事業拠点を当社が取得するためのものであり、株式会社 EMCOM FINANCIAL は株式交換期日以前に資本関係解消の予定です。

当社子会社である株式会社パンタ・レイ証券 (以下、「パンタ・レイ証券」といいます。) では平成 19 年 6 月から、自社システムを活用したオンライン外国為替証拠金取引 (FX 事業) サービスを開始し、順調に成長しております。なお、パンタ・レイ証券は当該サービスのシステム開発、運営・管理業務を EMCOM の完全子会社である FONOX に委託しておりますので、グループ化により、FX 事業のガバナンス面においてより安定的なシステム運営が実現するとともに、事業の採算面においても効率的な運営が可能になります。

また、当社では 2 年前から中国へ着目し、中国への投資を若干ながら行ってまいりました。経済成長率 10% にも届く中国では、国民所得の底上げ策、住宅購入促進法、投資顧問法など所得の底上げと、各種法律も整ってきており、臨海部だけだった経済成長が、これから本格的な全中国マーケットの経済成長に入ると予測でき、当社グループの中核事業である、金融・不動産事業も積極的に中国へ進出していくことを検討しておりました。当社グループの金融・不動産事業が中国への本格的な進出を実現するには、まずはその拠点の確保が必要であり、そのためには中国・大連に拠点を置き、システム開発およびシステムマネジメントを行う完全子会社 BestWiz を保有し、中国における金融ビジネスノウハウが豊富な EMCOM をグループ化することが最適と判断いたしました。

以上から、当社は、本株式交換が当社および当社グループの収益力・企業価値向上に資するものと考え、EMCOM との株式交換契約の締結に至りました。これにより、当社の既存株主および本株式交換により新たに当社の株主となる EMCOM 株主のご期待に応えるべく、両社一丸となって、収益力・企業価値の向上に取り組んでまいりたいと考えております。

2. 株式交換の条件等

(1) 株式交換の日程（簡易手続による）

平成 20 年 1 月 31 日 株式交換契約承認取締役会及び株式交換契約締結
平成 20 年 2 月 1 日（予定） 株式交換契約承認臨時株主総会（EMCOM）
平成 20 年 3 月 14 日（予定） 株式交換期日（効力発生日）
平成 20 年 3 月下旬（予定） 株券交付日

(注) 当社は、会社法第 796 条第 3 項の規定に基づき、株主総会の承認を必要としない簡易株式交換の手続きにより行う予定であります。

(2) 株式交換比率

| | 株式会社ジャレコ・ホールディング (完全親会社) | EMCOM 株式会社 (完全子会社) |
|--------|-----------------------------|-----------------------|
| 株式交換比率 | 1 | 29,000 |

(注) 1. 株式の割当比率

EMCOM の普通株式 1 株に対して、当社の普通株式 29,000 株を割当てます。

2. 株式交換により発行する新株式数等

当社は、株式交換に際して普通株式 34,800,000 株を新たに発行し、株式交換による株式の割当てに充当します。

3. 第三者機関による算定結果、算定方法及び算定根拠

① 算定の基礎及び経緯

株式交換の株式交換比率については、その公正性・妥当性を確保するため、第三者機関に株式交換比率の算定を依頼することとし、アーツ税理士法人を第三者算定機関として選定しました。

EMCOM は現在の事業が本格稼働後間もない会社であること、事業の性格上将来の利益計画で大幅な増減益を見込むのは客観性が乏しいことなどから DCF 方式に基づく株式価値評価は行わず、類似会社比準方式のみにより株式価値評価を行いました。

類似会社比準法：1 株当たり 557,532 円

上記個々の結果を総合的に勘案し 1 株当たり 557,532 円と算定いたしました。

当社の株式価値については、ジャスダック証券取引所に上場されており、上場企業の株式価値算定として客観性の高い市場株価平均法を採用し、直近 1 ヶ月間（平成 19 年 12 月 28 日～平成 20 年 1 月 30 日）、および直近 3 ヶ月間（平成 19 年 10 月 31 日～平成 20 年 1 月 30 日）の算定を行い、これらを総合的に勘案して 1 株当たり価格を算定いたしました。なお、その算定結果は以下のとおりです。

市場株価平均法：1 株当たり 19 円 22 銭（小数点第 3 位以下切捨）

（直近 1 ヶ月間：1 株当たり 18 円 73 銭、

直近 3 ヶ月間：1 株当たり 20 円 85 銭）

上述の第三者算定機関から提出を受けた株式交換比率案の算定についての結果を慎重に検討し、協議を重ねた結果、それぞれ平成 20 年 1 月 31 日に開催された取締役会において、本株式交換における株式交換比率を (2) 1 の通り合意・決定し、同日、両社間で株式交換契約を締結いたしました。

なお、この株式交換比率は、算定となる諸条件について重大な変更が生じた場合、両者間の協議により変更することがあります。

② 算定機関との関係

第三者算定機関であるアーツ税理士法人は、当社および EMCOM の関連当事者には該当しません。

(3) 株式交換完全子会社の新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

EMCOM の発行している新株予約権につきましては、本株式交換契約の日までに EMCOM が全てを無償にて取得、消却する予定です。なお、EMCOM は新株予約権付社

債の発行は行っておりません。

(4) 会計処理の概要

会計上の分類として、取得に該当する見込みであります。なお、この処理に伴い、のれんが発生いたします。発生する金額は現時点では未確定であり、その発生したのれんの償却については、監査法人与協議の上、その効果が発現すると見積もられる期間において定額法により償却を行う予定であります。未確定部分につきましては、判明次第お知らせいたします。

3. 株式交換の当事会社の概要 (平成19年12月31日現在)

| | | | |
|------|-----------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| (1) | 商号 | 株式会社ジャレコ・ホールディング (連結) (完全親会社) | EMCOM 株式会社 (連結) (完全子会社) |
| (2) | 主な事業内容 | 不動産事業・金融事業・ゲーム事業 | FX システム開発・コンサルティング業 |
| (3) | 設立年月日 | 昭和49年10月3日 | 平成13年3月26日 |
| (4) | 本店所在地 | 東京都港区赤坂八丁目5番26号 | 東京都港区赤坂八丁目5番26号 |
| (5) | 代表者 | 代表取締役社長 後藤 克誓 | 代表取締役 竹内 秀人 |
| (6) | 資本金の額 | 4,133 百万円 | 60 百万円(平成19年11月末) |
| (7) | 発行済株式総数 | 139,710,269 株 | 1,200 株 |
| (8) | 純資産 | 7,748 百万円(平成19年9月末・連結) | 83 百万円(平成19年11月末・連結) |
| (9) | 総資産 | 27,018 百万円(平成19年9月末・連結) | 223 百万円(平成19年11月末・連結) |
| (10) | 事業年度の末日 | 12月31日 | 3月31日 |
| (11) | 従業員数 | 167 名(平成19年6月末・連結) | 134 名(連結) |
| (12) | 主要取引先 | ㈱スルガ・コーポレーション 他 | ㈱パンタ・レイ証券 ㈱MJ 他 |
| (13) | 大株主及び持株比率 | STIC PIONEER FUND II 15.89% ゲームヤロウ株式会社 11.21% A2i Co., Ltd. 5.68% | 徐躍平 41.67% 竹内秀人 27.33% 濱井亜矢子 12.50% |
| (14) | 主要取引銀行 | 三井住友銀行 | 東京三菱UFJ銀行 みずほ銀行 |
| (15) | 当事会社の関係 | 資本関係 | なし |
| | | 人的関係 | なし |
| | | 取引関係 | なし |
| | | 関連当事者への 該当状況 | なし |

(16) 直近3決算期間の業績 (連結)

| 決算期 | 株式会社ジャレコ・ホールディング (完全親会社) | | | EMCOM 株式会社 (完全子会社) | | |
|----------------|-----------------------------|-----------|------------|-----------------------|---------------|----------------|
| | 平成16年12月 | 平成17年12月 | 平成18年12月 | 平成17年3月 | 平成18年3月 | 平成19年3月 |
| 売上高 | 1,220 百万円 | 395 百万円 | 4,093 百万円 | 0 百万円 | 12 百万円 | 193 百万円 |
| 営業利益 | ▲1,729 百万円 | ▲415 百万円 | ▲1,230 百万円 | ▲0.003 百万円 | 12 百万円 | ▲24 百万円 |
| 経常利益 | ▲1,882 百万円 | ▲17 百万円 | ▲1,745 百万円 | ▲0.003 百万円 | 12 百万円 | ▲22 百万円 |
| 当期純利益 | ▲1,931 百万円 | ▲56 百万円 | ▲3,851 百万円 | ▲0.07 百万円 | 8 百万円 | ▲13 百万円 |
| 1株当たり 当期純利益 | ▲18 円 15 銭 | ▲0 円 52 銭 | ▲27 円 99 銭 | ▲376 円 13 銭 | 34,621 円 96 銭 | ▲11,007 円 62 銭 |
| 1株当たり 年間配当金 | - 円 - 銭 | - 円 - 銭 | - 円 - 銭 | - 円 - 銭 | - 円 - 銭 | - 円 - 銭 |
| 1株当たり 純資産 | 38 円 5 銭 | 55 円 62 銭 | 68 円 75 銭 | 45,012 円 98 銭 | 84,621 円 98 銭 | 85,653 円 37 銭 |

4. 株式交換後の状況

- | | |
|--------------|---------------------------------------------------------------|
| (1) 商号 | 株式会社ジャレコ・ホールディング |
| (2) 主な事業内容 | 不動産事業・金融事業・ゲーム事業・システム開発事業 |
| (3) 本店所在地 | 東京都港区赤坂八丁目5番26号 |
| (4) 代表者 | 代表取締役社長 後藤 克誓 |
| (5) 資本金の額 | 4,183百万円(平成20年1月31日現在の資本金の額4,133百万円に、株式交換により増加する50百万円を加えたもの。) |
| (6) 純資産 | 本株式交換後の純資産につきましては、詳細が確定次第お知らせいたします。 |
| (7) 総資産 | 本株式交換後の総資産につきましては、詳細が確定次第お知らせいたします。 |
| (8) 事業年度の末日 | 12月31日 |
| (9) 業績に与える影響 | 本株式交換による当社の連結・個別業績に与える影響および業績見通しにつきましては、詳細が確定次第お知らせいたします。 |

以 上